



## 2019年3月期 第2四半期 決算説明会

株式会社SUBARU

取締役専務執行役員CFO 岡田 稔明  
2018年11月5日

## 2019年3月期 第2四半期決算 サマリー

### 2019年3月期 第2四半期 実績

- 連結売上高は、自動車売上台数の減少などにより前年同期に対し減収。
- 主力の北米市場で小売販売は堅調に推移しているものの、大規模なりコール等による品質関連費用の増加およびフルモデルチェンジを控えたフォレスターなどの出荷台数の減少などにより、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前年同期に対し減益。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主 当期純利益	連結販売台数
実績 (対前年実績)	1兆4,868億円 (-1,212億円)	550億円 (-1,571億円)	600億円 (-1,527億円)	443億円 (-407億円)	482.1千台 (-49.2千台)

### 2019年3月期 計画

- 前回計画(2018年8月6日発表値)に対し、販売台数の減少や品質関連費用等の増加などを織り込み修正。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主 当期純利益	連結販売台数
計画 (対前年実績)	3兆2,100億円 (-227億円)	2,200億円 (-1,594億円)	2,290億円 (-1,509億円)	1,670億円 (-534億円)	1,041.1千台 (-25.8千台)
(対前回計画 8/6発表値)	(-400億円)	(-800億円)	(-760億円)	(-530億円)	(-59.3千台)

\* 2019年3月期より会計方針変更(売上高から販売奨励金を控除)。比較年度についても同条件で算出。

## | 2019年3月期 第2四半期累計 実績

## 第2四半期累計実績 連結完成車販売台数

(千台)

	2018年3月期 2Q累計実績 (a)	2019年3月期 2Q累計 前回計画(8/6発表値) (b)	2019年3月期 2Q累計実績 (c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)
登録車	67.3	56.0	52.4	-14.9	-3.6
軽自動車	15.1	13.0	12.6	-2.5	-0.4
<b>国内合計</b>	<b>82.3</b>	<b>68.9</b>	<b>65.0</b>	<b>-17.4</b>	<b>-4.0</b>
米国	333.2	313.0	302.2	-31.0	-10.7
カナダ	30.7	31.6	31.8	+1.1	+0.3
ロシア	3.7	7.0	5.1	+1.4	-1.9
欧州	17.8	20.9	20.6	+2.9	-0.2
豪州	27.7	26.9	23.5	-4.2	-3.4
中国	13.8	12.4	9.2	-4.6	-3.2
その他	22.0	25.7	24.6	+2.6	-1.1
<b>海外合計</b>	<b>448.9</b>	<b>437.4</b>	<b>417.1</b>	<b>-31.8</b>	<b>-20.3</b>
<b>合計</b>	<b>531.3</b>	<b>506.3</b>	<b>482.1</b>	<b>-49.2</b>	<b>-24.2</b>

初めに、2019年3月期 第2四半期実績についてです。

連結販売台数は、48万2千1百台となり、前年同期比で4万9千2百台減少となりました。

国内については、

7月に全面改良を行った「フォレスター」の販売が好調に推移したものの、「インプレッサ」および「SUBARU XV」の新型車効果が一巡したことなどにより、前年同期比で1万7千4百台の減少となる、6万5千台となりました。

海外については、全面改良前の「フォレスター」などの販売が減少したことや、おもに米国で現地販売店の在庫調整を行ったことなどによる出荷台数の減少に伴い、前年同期比 3万1千8百台の減少となる 41万7千1百台となりました。

一方、小売り販売については概ね堅調に推移しており、当社の重点市場であります北米においては、新型車の「アセント」、昨年夏にフルモデルチェンジをした「クロストレック」の台数が寄与し、7期連続で過去最高。この10月販売で83か月連続で前年を越えるということで好調を維持しています。上期の小売り台数は、前年比105.9%でした。

## 第2四半期累計実績 連結業績

(億円)

	2018年3月期 2Q累計実績 (a)	2019年3月期 2Q累計 前回計画(8/6発表値) (b)	2019年3月期 2Q累計実績 (c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)
売上高	(16,863) <b>16,080</b>	<b>14,630</b>	<b>14,868</b>	<b>-1,212</b>	<b>+238</b>
国内	(3,286) 3,283	2,670	2,874	-408	+205
海外	(13,577) 12,797	11,961	11,994	-804	+33
営業利益	<b>2,121</b>	<b>1,100</b>	<b>550</b>	<b>-1,571</b>	<b>-550</b>
経常利益	<b>2,127</b>	<b>1,117</b>	<b>600</b>	<b>-1,527</b>	<b>-517</b>
税前利益	<b>1,285</b>	<b>1,082</b>	<b>630</b>	<b>-655</b>	<b>-452</b>
親会社株主に帰属する 当期純利益	<b>850</b>	<b>791</b>	<b>443</b>	<b>-407</b>	<b>-348</b>
単独為替レート	¥111/US\$	¥105/US\$	¥109/US\$	-¥2/US\$	+¥4/US\$

\* 2019年3月期より会計方針変更(売上高から販売奨励金を控除)。比較年度についても同条件で算出  
\* カッコ内数値：販売奨励金控除前

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

5

次に、連結業績です。

連結売上高は、売上構成差の悪化 -1,001億円、為替レート差-61億円、カンパニー等-150億円により、前年同期比1,212億円の減収となる1兆4,868億円となりました。

なお、売上高の前年度比較につきましては、新しい会計方針に従って前年度実績を再計算しております。

営業利益につきましては、

大規模なリコール等による品質関連費用の増加

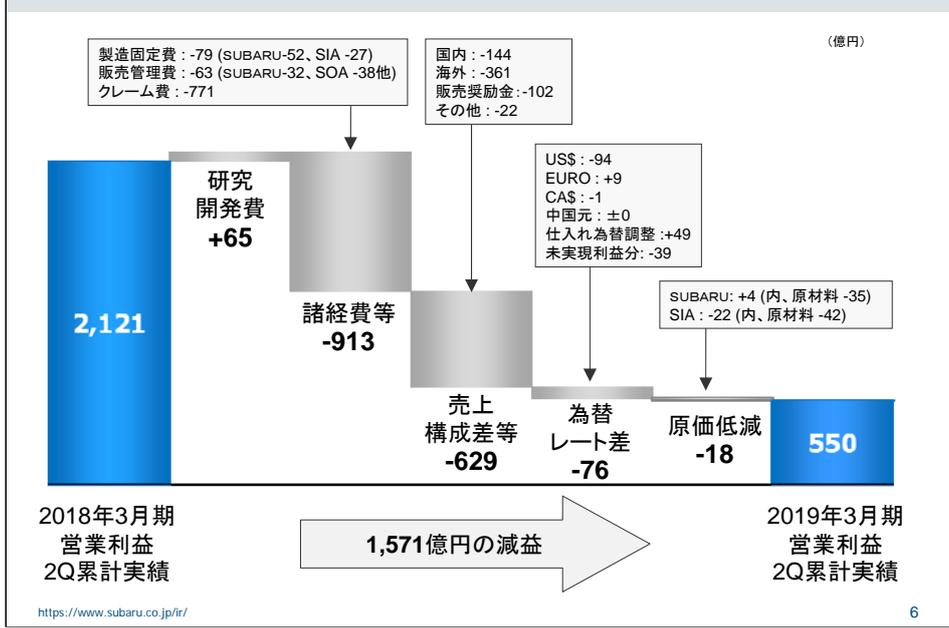
およびフルモデルチェンジを控えたフォレスターなどの出荷台数の減少などにより、

前年同期比 1,571億円の減益となる 550億円、

経常利益は、1,527億円の減益となる600億円となりました。

また、親会社株主に帰属する当期純利益は、前年同期比407億円減益となる443億円となりました。

前年実績対比  
第2四半期累計実績 営業利益増減要因



続きまして、営業利益増減要因についてです。  
前年同期実績に対し1,571億円の減損となりますが、その要因についてご説明いたします。

初めに、増益要因です。 研究開発費で +65億円です。

続いて、減損要因です。

<1>諸経費等 -913億円で、詳細は次の3つです。

①製造固定費 の増加により-79億円です。そのうち、SUBARUは-52億円。内訳は、外製型費の増により-36億円、固定加工費 の増により-16億円です。SIAは -27億円で、内訳は、外製型費の増により-20億円、固定加工費の増により-7億円です。

②販売管理費の増加で、-63億円です。  
内訳は、SUBARUで-32億円、国内ディーラーは-1億円、SOAは-38億円、カナダ子会社は+2億円、その他 で+6億円です。

③クレーム費の増加で-771億円です。  
11月1日に届け出いたしましたバルブスプリングのリコール費用約550億円と、追加の完成検査関連のリコール費用約60億円を含んでいます。

<2> 売上構成差等で -629億円です。詳細は次の4つとなります。

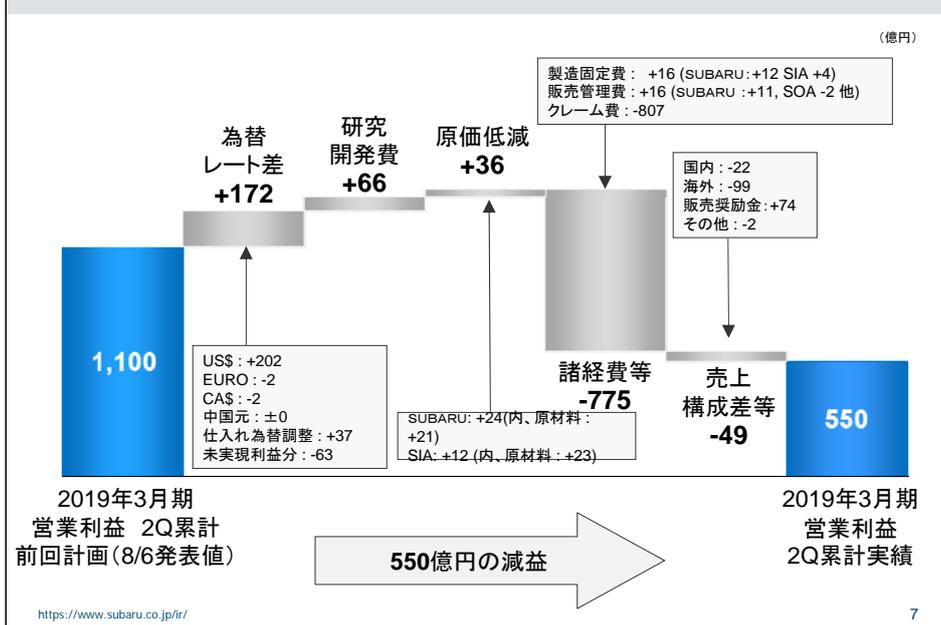
- ①新車国内 -144億円。
- ②新車海外 -361億円。
- ③販売奨励金 -102億円。内、SOAは -71億円です。  
台当たりインセンティブは\$2,200で、前年同期の\$1,800から\$400増加となりました。
- ④在庫調整等その他で -22億円。

<3>為替レート差で -76億円です。  
ドルは約2円の円高で-94億円。ユーロは約5円の円安で+9億円。  
カナダドルは若干の変動で-1億円。  
SUBARUと海外子会社の仕入れ為替調整で+49億円、未実現利益分で-39億円です。

<4>原価低減で-18億円です。  
そのうち、SUBARUで+4億円、SIAで-22億円となりました。  
内訳は、SUBARUで原価低減+39億円、原材料・市況等-35億円。  
SIAは、原価低減+20億円、原材料・市況等-42億円です。

以上で、第2四半期累計の営業利益は、前期実績2,121億円から1,571億円の減損となる550億円となりました。

前回計画(8/6発表値)対比  
第2四半期累計実績 営業利益増減要因



こちらは、8月6日の第1四半期決算発表時にご報告しました上期計画値に対する営業利益増減要因についてです。計画値に対し550億円の減益となりましたが、その要因についてご説明いたします。

増益要因は、次の3つとなります。

- <1> 為替レート差 で+172億円です。  
米ドルは約4円の円安で+202億円。ユーロは約1円の円安で-2億円、カナダドルは約1円の円高で-2億円。  
SUBARUと海外子会社の仕入れ為替調整で+37億円、未実現利益分で-63億円です。
- <2> 研究開発費で +66億円です。
- <3> 原価低減で+36億円です。そのうち、SUBARUで+24億円、SIAで+12億円となりました。  
内訳は、SUBARUで原価低減+3億円、原材料・市況等+21億円。  
SIAは、原価低減-11億円、原材料・市況等+23億円です。

続いて、減益要因です。

- <4> 諸経費等の増加で、-775億円。詳細は次の3つとなります。
- ①製造固定費の減で+16億円。そのうち、SUBARU+12億円、SIA+4億円です。  
SUBARUでは、外製型費の減により+2億円、固定加工費の減により+10億円。  
SIAでは、外製型費の減により+7億円、固定加工費の増により-3億円です。
- ②販売管理費で+16億円です。  
内訳は、SUBARUで+11億円、国内ディーラーは-1億円、SOAは-2億円、カナダ子会社は±0億円、その他で+8億円です。
- ③クレーム費の増加で-807億円です。先程ご説明しましたリコール費用が主な要因となります。
- <5> 売上構成差等で-49億円です。詳細は次の4つとなります。
- ①新車国内 -22億円  
②新車海外は-99億円  
③販売奨励金 +74億円。内、SOAは+65億円です。  
台あたりインセンティブは、\$2,200で、計画値\$2,300に対し\$100減となりました。  
④在庫調整等その他 で-2億円です。

以上で、第2四半期累計の営業利益は、計画値に対し550億円の減益となる550億円となりました。

修正計画(10月23日発表)対比  
**第2四半期累計実績 連結業績**

(億円)

	2019年3月期 2Q累計 修正計画(10/23発表値) (a)	2019年3月期 2Q累計実績 (b)	増減 (b)-(a)
売上高	14,860	14,868	+8
営業利益	610	550	-60
経常利益	660	600	-60
親会社株主に帰属する 当期純利益	490	443	-47
単独為替レート	¥109/US\$	¥109/US\$	±¥0/US\$

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

8

こちらは、10月23日に適時開示しました修正連結業績予想との比較となります。

当社群馬製作所の完成検査における不適切な取扱いに関し、  
 2018年10月16日以降に実施された国交省の立ち入り検査を契機に、  
 追加の社内調査を行った結果をうけて、追加でリコールを実施することに致しました。

それに伴い、追加で約60億円の費用を引き当てた結果、  
 10月23日の修正連結業績予想との差が生じています。

## 連結貸借対照表

(億円)

	2018年3月末	2019年9月末	増減
<b>総資産</b>	<b>28,665</b>	<b>29,351</b>	<b>+686</b>
流動資産	17,704	17,810	+106
固定資産	10,960	11,541	+580
<b>負債合計</b>	<b>13,055</b>	<b>13,581</b>	<b>+526</b>
有利子負債	862	498	-364
<b>純資産合計</b>	<b>15,610</b>	<b>15,770</b>	<b>+160</b>
利益剰余金	12,835	12,726	-109
自己資本	15,528	15,695	+167
自己資本比率	54.2%	53.5%	-
D/Eレシオ	0.06	0.03	-

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

\* 税効果会計基準の一部改正にともない、2019年3月期より算出方法を変更。比較年度についても同条件で算出。

9

続きまして、バランスシートです。

総資産は、2兆9,351億円と前期末に比べ686億円の増加となりました。  
 主な要因は、固定資産の増加580億円、商品及び製品の増加526億円、  
 仕掛品の増加190億円、原材料及び貯蔵品の増加153億円、  
 現金及び預金と有価証券を合わせた手許資金の減少765億円などです。

負債は、1兆3,581億円と前期末に比べ526億円の増加となりました。  
 主な要因は、未払費用の増加445億円などです。

純資産は、1兆5,770億円と前期末に比べ160億円の増加となりました。  
 主な要因は、為替換算調整勘定の増加274億円、利益剰余金の減少109億円などです。

自己資本比率は53.5%となりました。

## 第2四半期累計実績 連結キャッシュフロー

(億円)

	2018年3月期 2Q実績	2019年3月期 2Q実績	増減
営業活動CF	2,078	647	-1,431
投資活動CF	-1,014	-800	+214
フリーCF	1,064	-153	-1,217
財務活動CF	-1,033	-923	+110
換算差額	27	283	+255
現金及び現金同等物の増減	58	-794	-852
連結除外に伴う現金及び 現金同等物の減少額	-5	-	+5
連結子会社の決算期変更による 現金及び現金同等物の増減額	37	-	-37
現金及び現金同等物 合計	7,375	6,862	-513

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

10

次は、連結キャッシュフローです。

営業活動による資金の増加は647億円となりました。

主な要因は、税金等調整前四半期純利益630億円、減価償却費514億円、未払費用の増加379億円、たな卸資産の増加742億円、法人税等の支払503億円などです。

投資活動による資金の減少は800億円となりました。

主な要因は、固定資産の取得による支出758億円などです。

その結果、フリーキャッシュフローは-153億円となりました。

財務活動による資金の減少は923億円となりました。

主な要因は、配当金の支払552億円、長期借入金の返済による支出194億円、短期借入金の減少169億円などです。

また、現金及び現金同等物は、6,862億円となりました。

## 第2四半期累計実績 海外子会社業績

(Million US\$)

SOA	2018年3月期 2Q累計実績	2019年3月期 2Q累計実績	増減
売上高	9,115	8,643	-472
営業利益	278	104	-174
当期純利益	177	94	-83
小売販売台数(千台)	334.7	350.1	15.4

SIA	2018年3月期 2Q累計実績	2019年3月期 2Q累計実績	増減
売上高	3,901	4,044	+143
営業利益	84	33	-51
当期純利益	54	28	-26
生産台数(千台)	178.9	172.6	-6.4

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

11

米国子会社の業績についてです。

SOAの小売販売は、全面改良前の「フォレスター」の販売が減少しましたが、クロストレックが引き続き好調に推移したこと、販売を開始した新型車アセントの台数寄与などにより、前年同期に対し1万5千4百台増の35万1百台となりました。

売上高は、前年同期比 \$472Mの減収となる \$8,643M、  
営業利益は、前年同期比\$174Mの減益となる\$104Mとなりました。

営業利益の増減要因は、数量・構成差-\$76M、  
販管費の増で-\$98M により、前年同期比\$174Mの減益となる\$104Mとなりました。

SIAの売上高は、前年同期に対し+\$143Mの\$4,044Mとなりました。  
営業損益は、数量価格構成差-\$7M、原価低減活動-\$20M、固定費増-\$24Mにより、  
前年同期比-\$51Mとなる\$33Mとなりました。

## | 2019年3月期 見通し

## 通期計画 生産台数・連結完成車販売台数

(千台)

	2018年3月期 実績 (a)	2019年3月期 前回計画 (8/6発表値) (b)	2019年3月期 今回計画 (c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)
米国生産	348.6	384.0	379.7	+31.1	-4.3
国内生産	701.2	672.0	656.1	-45.0	-15.9
<b>合計</b>	<b>1,049.7</b>	<b>1,056.0</b>	<b>1,035.8</b>	<b>-13.9</b>	<b>-20.2</b>

※ 生産台数にはトヨタ向け86/FR-Sの台数を含む

(千台)

	2018年3月期 実績 (a)	2019年3月期 前回計画 (8/6発表値) (b)	2019年3月期 今回計画 (c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)
<b>連結完成車 販売台数 合計</b>	<b>1,066.9</b>	<b>1,100.4</b>	<b>1,041.1</b>	<b>-25.8</b>	<b>-59.3</b>

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

13

続きまして、2019年3月期 通期の生産および連結完成車販売台数の計画です。

生産台数については、前年に対し1万3千9百台の減、  
前回計画に対し2万2百台の減となる103万5千8百台に修正いたします。

一連の完成検査における不適切事案を受けまして、  
検査工程および操業条件の変更などを行うことにより、計画を見直しました。

これに伴い、連結販売台数につきましても、前年に対し2万5千8百台の減、  
前回計画に対し5万9千3百台の減となる、104万1千1百台に修正いたします。

市場別の台数につきましては、今回の修正計画をベースに、  
影響を精査中のため、今回は合計値のみの発表とさせていただきます。

## 通期計画 連結業績

(億円)

	2018年3月期 実績 (a)	2019年3月期 前回計画 (8/6発表値) (b)	2019年3月期 今回計画 (c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)
<b>売上高</b>	(34,052) <b>32,327</b>	<b>32,500</b>	<b>32,100</b>	<b>-227</b>	<b>-400</b>
<b>国内</b>	(6,686) 6,680	6,086	6,173	-507	+87
<b>海外</b>	(27,367) 25,647	26,415	25,927	+280	-487
<b>営業利益</b>	<b>3,794</b>	<b>3,000</b>	<b>2,200</b>	<b>-1,594</b>	<b>-800</b>
<b>経常利益</b>	<b>3,799</b>	<b>3,050</b>	<b>2,290</b>	<b>-1,509</b>	<b>-760</b>
<b>税前利益</b>	<b>2,973</b>	<b>2,987</b>	<b>2,290</b>	<b>-683</b>	<b>-697</b>
親会社株主に帰属する <b>当期純利益</b>	<b>2,204</b>	<b>2,200</b>	<b>1,670</b>	<b>-534</b>	<b>-530</b>
<b>単独為替レート</b>	¥111/US\$	¥105/US\$	¥110/US\$	-¥2/US\$	+¥5/US\$

\* 2019年3月期より会計方針変更(売上高から販売奨励金を控除)。比較年度についても同条件で算出  
\* カッコ内数値：販売奨励金控除前

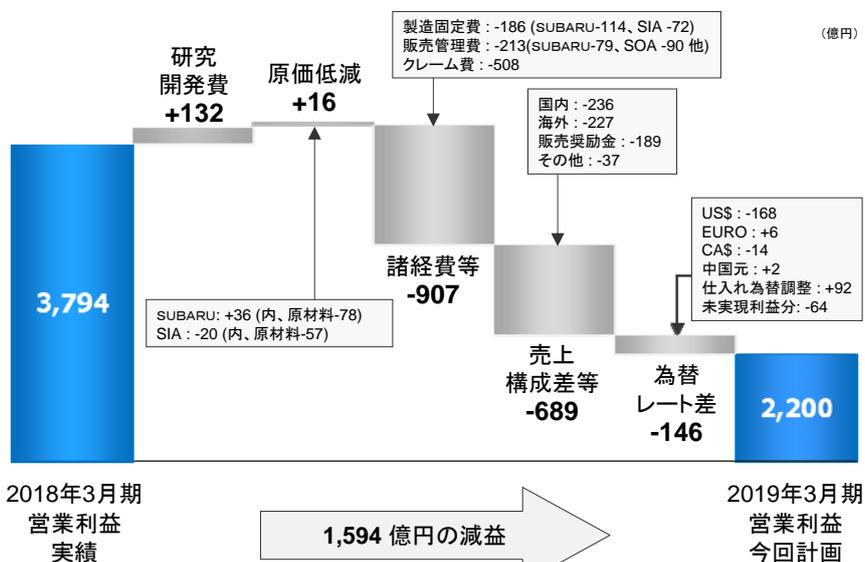
<https://www.subaru.co.jp/ir/>

14

次に、連結業績計画です。

販売台数の減少や、品質関連費用等の増加などを織り込むことから、連結売上高は、前年比227億円の減収となる3兆2,100億円、営業利益は、前年比1,594億円の減益となる2,200億円、経常利益は2,290億円、親会社株主に帰属する当期純利益は1,670億円に修正いたします。

前年実績対比  
**通期計画 営業利益増減要因**



<https://www.subaru.co.jp/ir/>

15

続きまして、営業利益増減要因についてです。  
 前年実績に対し1,594億円の減益となる要因について、ご説明いたします。

まず、増益要因として、2点ご説明いたします。

- <1>研究開発費の減少で+132億円です。
- <2>原価低減で+16億円です。そのうち、SUBARUで+36億円、SIAで-20億円です。  
 SUBARUでは、原価低減+114億円、原材料・市況等-78億円です。  
 SIAでは、原価低減+37億円、原材料等-57億円です。

次に、減益要因です。

<1>諸経費等の増加で-907億円です。要因は次の3つです。

- ①製造固定費の増加により-186億円です。そのうち、  
 SUBARUは、外製型費の増により-93億円、固定加工費の増により-21億円で、-114億円。  
 SIAでは、外製型費の増により-34億円、固定加工費の増により-38億円で、-72億円を見込みます。
- ②販売管理費の増加で-213億円です。  
 SUBARUで-79億円、国内ディーラーは-11億円、SOAは-90億円、カナダ子会社は-10億円、  
 その他で-23億円です。
- ③クレーム費の増加で-508億円です。  
 昨年度は、完成検査関連のリコール費用や製品保証引当金の積み増しなどの費用が発生いたしましたが、  
 今年度も、バルブスプリングなどの大規模なリコール費用の発生や、  
 完成検査関連リコールの追加などにより、費用が増加することを見込んでおります。

<2>売上構成差等で-689億円です。要因は次の4つです。

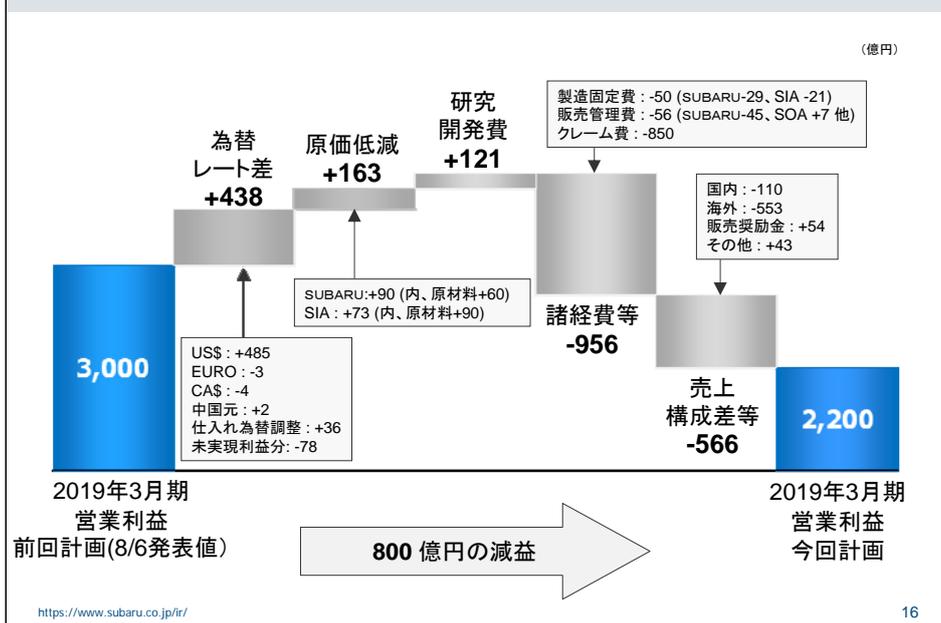
- ①新車国内は-236億円
- ②新車海外は-227億円
- ③販売奨励金 -189億円。 内、SOAで-150億円です。  
 台あたりインセンティブは、\$2,250と、前年同期の\$2,000から、\$250増える計画です。
- ④在庫調整等その他で-37億円です。

<3>最後に、為替レート差で-146億円です。

米ドルは約2円の円高を見込み、-168億円。  
 ユーロは約1円の円安で+6億円、カナダドルは約2円の円高で-14億円、中国元は+2億円。  
 その他、SUBARUと海外子会社の仕入れ為替調整で+92億円、  
 在庫未実現利益分として-64億円を計画しています。

以上で、2019年3月期の通期営業利益は、前年実績3,794億円から1,594億円の減益となる2,200億円を計画しています。

前回計画(8/6発表値)対比  
**通期計画 営業利益増減要因**



続きまして、前回発表値に対し、800億円の減益となる要因についてご説明いたします。

まず、増益要因として、3点説明いたします。

〈1〉為替レート差で+438億円です。

米ドルは約5円の円安を見込み、+485億円。

ユーロは若干の変動で-3億円、カナダドルは若干の変動で-4億円、中国元は+2億円です。

その他、SUBARUと海外子会社の仕入れ為替調整で+36億円、

在庫未実現利益分として-78億円を計画しています。

〈2〉原価低減で+163億円です。そのうち、SUBARUで+90億円、SIAで+73億円です。

内訳は、SUBARUで、原価低減+30億円、原材料・市況等+60億円です。

SIAでは、原価低減-17億円、原材料等+90億円です。

〈3〉研究開発費で+121億円です

次に、減益要因です。

〈1〉諸経費等の増加で-956億円です。要因は次の3つです。

①製造固定費の増加により-50億円です。そのうち、

SUBARUは、外製型費の増により-17億円、固定加工費の増により-12億円で、-29億円。

SIAは、外製型費の減により+21億円、固定加工費の増により-42億円で、-21億円を見込みます。

②販売管理費の増加で-56億円です。

SUBARUで-45億円、国内ディーラーは-9億円、SOAは+7億円、カナダ子会社は-7億円、

その他で-3億円です。

③クレーム費の増加で-850億円です。

〈2〉売上構成差等で-566億円です。要因は次の4つです。

①新車国内は-110億円

②新車海外は-553億円

③販売奨励金 +54億円。内、SOAで+35億円です。

台あたりインセンティブは、前回計画の\$2,200から\$50増える、\$2,250を計画しております。

④在庫調整等その他で+43億円です。

以上で、2019年3月期の通期営業利益は、前回計画値3,000億円から800億円の減益となる2,200億円を計画しています。

## 設備投資・減価償却費・研究開発費・有利子負債

(億円)

	2018年3月期 2Q累計実績	2019年3月期 2Q累計実績	2018年3月期 通期実績 (a)	2019年3月期 通期前回計画 (8/6発表値) (b)	2019年3月期 通期今回計画 (c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)
設備投資	545	591	1,414	1,300	1,300	-114	±0
減価償却費	421	473	898	930	930	+32	±0
研究開発費	609	545	1,211	1,200	1,080	-131	-120
有利子負債	976	498	862	800	500	-362	-300

\*2019年3月期より会計方針変更にもない、当社および国内連結子会社の一部の有形固定資産の償却方法を定率法から定額法へ変更。

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

17

次に、設備投資、減価償却費、研究開発費、有利子負債についてです。

第2四半期の実績は、設備投資591億円、減価償却費473億円、研究開発費545億円となりました。

通期計画については、

設備投資および減価償却費は、前回の発表値から変更はありませんが、研究開発費については、前回発表値に対し-120億円となる1,080億円、有利子負債は、-300億円となる500億円を計画いたします。

## 株主還元政策

### 【一株当たり配当金】

	2018年3月期 実績	2019年3月期	
		前回予想	今回予想
第2四半期末	72 円	72 円	72 円
期末	72 円	72 円	72 円
年間合計	144 円	144 円	144 円

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

18

最後に、株主還元についてです。

中間配当については、72円とさせていただきます。

期末配当の予想については、販売台数の減少や品質関連費用等の増加により、前回計画に対し利益水準は悪化するものの、配当予想については前回から変更いたしません。

次ページ以降は、セグメント情報等の参考情報となります。

以上で2019年3月期 第2四半期決算の説明を終わります。  
ありがとうございました。

## ご参考

- ・連結営業外収支 / 特別損益
- ・セグメント情報(事業別 / 所在地別)
- ・海外売上高
- ・単独販売台数
- ・第2四半期(3か月) 連結業績
- ・生産台数 / 小売台数 推移

## 第2四半期累計実績 連結営業外収支/特別損益

(億円)

	2018年3月期 2Q累計実績	2019年3月期 2Q累計実績	増減
金融収支	24	56	+32
為替影響	-20	-8	+12
その他	2	2	-0
<b>営業外収支</b>	<b>6</b>	<b>50</b>	<b>+44</b>
固定資産売却益	2	10	+9
投資有価証券売却益	6	36	+29
固定資産除売却損	-29	-25	+4
エアバッグ関連損失	-813	-	+813
その他	-9	+8	+17
<b>特別損益合計</b>	<b>-842</b>	<b>+30</b>	<b>+872</b>

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

20

## 第2四半期累計実績 事業セグメント別業績

(億円)

	売上高			営業利益			
	2018年 3月期 2Q累計実績	2019年 3月期 2Q累計実績	増減	2018年 3月期 2Q累計実績	2019年 3月期 2Q累計実績	増減	
自動車	(16,000)	15,217	14,164	-1,053	2,053	500	-1,553
航空宇宙	(680)	680	630	-50	42	30	-12
その他	(183)	183	74	-109	24	18	-6
消去・全社					3	3	+0
合計	(16,863)	16,080	14,868	-1,212	2,121	550	-1,571

\* 2019年3月期より会計方針変更(売上高から販売奨励金を控除)。比較年度についても同条件で算出

\* カッコ内数値：販売奨励金控除前

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

21

## 第2四半期累計実績 所在地別セグメント業績

(億円)

	売上高			営業利益		
	2018年 3月期 2Q累計 実績	2019年 3月期 2Q累計実績	増減	2018年 3月期 2Q累計実績	2019年 3月期 2Q累計実績	増減
日本	(4,979)	4,975	-479	1,586	266	-1,321
北米	(10,927)	10,176	-623	439	239	-200
その他	(957)	929	-110	24	13	-11
消去・全社				72	32	-40
合計	(16,863)	16,080	-1,212	2,121	550	-1,571

\* 2019年3月期より会計方針変更(売上高から販売奨励金を控除)。比較年度についても同条件で算出  
 \* カッコ内数値：販売奨励金控除前

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

22

## 第2四半期累計実績 連結海外売上高

(億円)

	2018年3月期 2Q累計実績		2019年3月期 2Q累計実績	増減
北米	(11,492)	10,741	10,016	-725
欧州	(541)	538	629	+91
アジア	(698)	673	538	-136
その他	(846)	844	811	-33
合計	(13,577)	12,797	11,994	-804

\* 2019年3月期より会計方針変更(売上高から販売奨励金を控除)。比較年度についても同条件で算出

\* カッコ内数値：販売奨励金控除前

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

23

## 第2四半期累計実績 単独販売台数

(千台)

	2018年3月期 2Q累計実績	2019年3月期 2Q累計実績	増減
国内生産	346.2	318.9	-27.2
国内売上	85.6	68.9	-16.7
登録車	70.0	56.0	-14.0
軽自動車	15.7	12.9	-2.7
輸出台数	271.3	254.4	-16.9
海外生産用部品	178.4	190.6	+12.2
単独売上合計	535.3	513.8	-21.5

※ 生産台数にはトヨタ向け86/FR-Sの台数を含む

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

24

前年対比  
第2四半期(3ヵ月)実績 連結完成車販売台数

(千台)

	2018年3月期 2Q実績	2019年3月期 2Q実績	増減
登録車	34.0	29.5	-4.5
軽自動車	7.9	6.6	-1.3
国内合計	<b>41.9</b>	<b>36.0</b>	<b>-5.8</b>
米国	159.3	152.4	-6.9
カナダ	15.3	16.1	+0.8
ロシア	1.8	2.6	+0.8
欧州	9.4	5.3	-4.1
豪州	13.6	12.6	-1.0
中国	5.8	5.8	-0.0
その他	12.8	13.3	+0.4
海外合計	<b>218.1</b>	<b>208.1</b>	<b>-9.9</b>
合計	<b>259.9</b>	<b>244.2</b>	<b>-15.7</b>

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

25

前年対比  
第2四半期(3ヵ月)実績 連結業績

(億円)

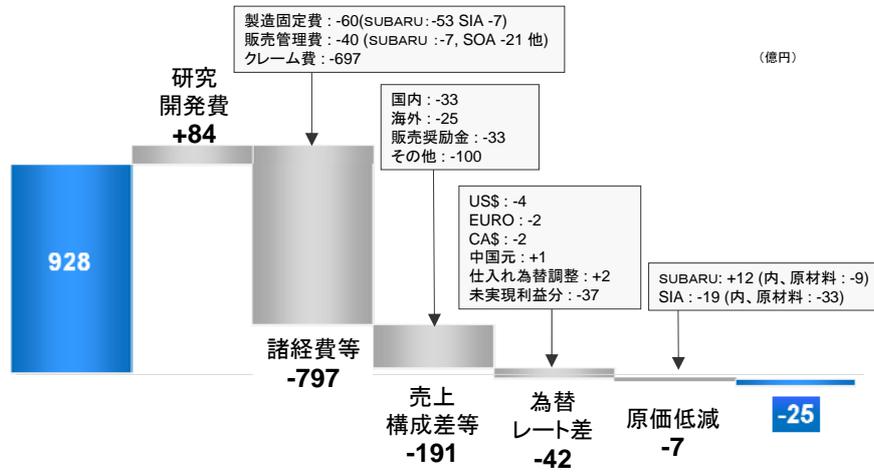
	2018年3月期 2Q実績		2019年3月期 2Q実績	増減
売上高	(8,315)	7,940	7,776	-164
国内	(1,681)	1,679	1,572	-107
海外	(6,634)	6,261	6,204	-57
営業利益		928	-25	-953
経常利益		935	-1	-935
税前利益		103	14	-88
親会社株主に帰属する 当期純利益		27	-12	-38
単独為替レート		¥111/US\$	¥111/US\$	-¥0/US\$

\* 2019年3月期より会計方針変更(売上高から販売奨励金を控除)。比較年度についても同条件で算出  
\* カッコ内数値：販売奨励金控除前

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

26

(前年対比)  
**第2四半期 (3ヵ月)実績 営業利益増減要因**



2018年3月期  
 営業利益  
 2Q実績

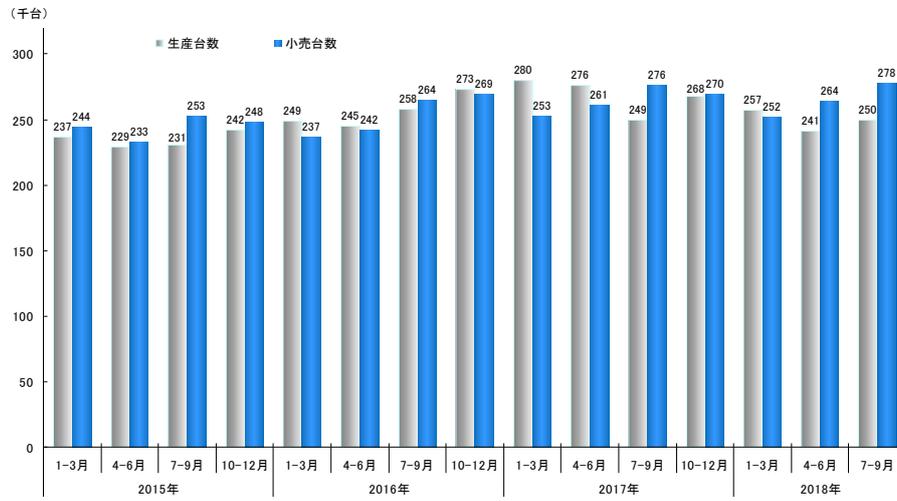
953億円の減益

2019年3月期  
 営業利益  
 2Q実績

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

27

## 生産台数 / 小売台数 推移



※ 生産台数にはトヨタ向け86/FR-Sの台数を含む

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

28



本資料に記載されている計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報、予測に基づいた仮定、および判断であり、様々なリスクや不確実性を含みます。将来における当社の実際の業績は、当社を取り巻く経済情勢、需要や為替レートの変動などにより、これらと異なる結果となる場合がございます。従いまして、この見通しのみで全面的に依拠されることは避けて頂きますようお願い致します。

<https://www.subaru.co.jp/ir/>